

ノルトライン=ヴェストファーレン州の犯罪発生状況（2014年）

◎ 主な犯罪統計（出典：同州刑事局 2014年犯罪白書）

○ 犯罪発生件数 150万1,125件（前年比+16,182件）

○ 解明率 49.8%（前年比+0.3ポイント）

○ 罪種別発生件数

窃盗 667,315件（前年比+1万757件）

空き巣 52,794件（前年比-2159件）

すり 53,759件（前年比+4188件）

強盗 13,836件（前年比-842件）

殺人 355件（前年比+8件）

傷害 113,801件（前年比-1513件）

性犯罪 10,138件（前年比-346件）

薬物犯罪 60,328件（前年比+3,553件）

◎ 解説

○ 空き巣が2007年以来初めて減少したが、昼間の発生は前年比12%の増加。

○ すりが過去最多を記録。被疑者全体に占める外国籍者の割合は78%以上。

○ 強盗が2001年以降で最少となるなど暴力犯罪は減少傾向。

◎ 防犯上のアドバイス

○ 日本人の被害状況では、駅、空港、観光地、ホテル等不特定多数の人が集まる場所でスリや置き引きに遭うケースが多くみられます。携行品は最小限にまとめて体から離さず、旅券や貴重品は着衣内に収めるなどの対策をお願いします。

○ 空き巣は、夜間よりも日中、特に午後2時から午後6時までの間に最も多く発生しています。補助鍵やタイマー付きランプを設置するなど自宅の防犯設備を強化するほか、外出時の施錠の徹底や隣家（室）との協力関係の構築を心がけてください。また、非常時の退避要領や警察への通報要領等をあらかじめ確認しておくことも大切です。

○ 万が一、旅券の盗難（又は紛失）に遭い、再発給の申請をされる場合の手続き及び必要書類については、下記ページを御参照ください。

http://www.dus.emb-japan.go.jp/profile/japanisch/j_konsular/j1_passport.htm